

# VF-11MAXL改

## ミレーヌバルキリー (マクロス7)

バンダイ 1/144スケールプラスチックキット  
製作・文 政府開発援助

### 1. ミレーヌバルキリーについて

統合軍全領域可変戦闘機VF-11MAXLは、VF-11サンダーボルトをベースにVF-16用大出力エンジンを搭載することで性能強化が図られた機体である。数機しか作られていないVF-11MAXLは全てカスタムメイドであり、同じ機体は存在しない。サウンドフォースのボーカルであるミレーヌ・ジーナス専用で作られた機体はサウンドエナジー変換装備を備え操縦系も従来機とはまるで異なる為、VF-11MAXL改「ミレーヌバルキリー」と呼称されている。同機の飛行形態のデザインモチーフは恐らく旧米軍のF-16XLだと思われるが、曲面叩き出しの装甲板が多用されており、バトロイド形態は女性的な美しさを感じさせるものとなっている。

### 2. キットについて

「マクロス7」シリーズの1/144キットはバトロイドとファイターの2機セットで、接着剤不要のスナップキットです。マーキングはメッキシールが付属。ST基準やPL法の為か各パーツの角やエッジが丸くなっているのが気になります。キャノピー部品はVF-11と同じものを使用することになっていますが、出来れば専用のキャノピーを起こして欲しかったところです。

### 3. 製作と塗装について

製作にあたっては、  
(1)各部の薄々・トゲトゲ攻撃により実感を高めること  
(2)機首及びキャノピーのラインを設定に近付けること  
(3)お手軽パール仕上げ  
を目標としています。キットには着陸脚の部品も付属しているのですが、脚収納扉の形状が不明瞭の為飛行形態としています。キャノピーはヒートプレスにより新造、それに伴って機首部分はエポキシパテで大幅に形を変え、VF-19やVF-22につながるような形状を目指しました。インテークのシャッター状部品もエポキシパテによるものです。ガンポットはバトロイド用のグリップを切り飛ばしてポリランナーでマウントしています。

塗装は全体にクレオス(旧ゲンゼ)の缶スプレーのベースホワイト4000を吹いた後、黄色い部分をラッカー系のイエローFS13538、ピンク色の部分をエナメル系のピンク+クリアーレッド少々、グレーの部分をエナメル系のメタリックグレーで塗り分けた後クレオスのレッドパールを吹きました。その後コクピット等の細部をエナメル系カラーで塗り分け、ウェーブのマクロスデカールを用いて仕上げています。スミ入れはガンダムマーカークのグレーで控えめに行っています。パール仕上げの為、最後にゲンゼのスーパークリアの光沢を吹いています。



上面



下面

#### 4.製作過程



脚は収納状態で製作している。つま先は延長した。中央にプラパイプが埋め込まれている。



キャノピーはイメージと異なる為ヒートプレスにより新造。左端はボツ部品(幅が広過ぎた)



腕部分に飾り台とのドッキング用の真鍮管を内蔵。左右で傾きを違えてある。



足首部分を分割、主翼は後ハメ工作を行っている。ガンポットはバトロイドのもの。